

# 財政事情の公表

地方自治法第243条の3第1項及び吉富町財政事情書の作成及び公表に関する条例に基づき、令和2年度決算及び令和3年度上半期の財政事情を別紙のとおり公表します。

令和3年10月31日

吉富町長 花 畑 明

## 公表内容

- 令和2年度一般会計決算の状況
- 令和3年度一般会計予算の執行状況
- 財産の状況
- 地方債及び一時借入金の状況
- 特別会計予算の状況（令和2年度決算・令和3年度予算執行状況）

# 1. 令和2年度一般会計決算の状況

## (1) 総括

決算額は、前年度に比べ歳入、歳出ともに増額しました。実質収支（歳入歳出の差引から翌年度に繰り越す財源を除いた額）は、192,000千円となりました。

(単位:千円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度 (参考)	対前年度比
歳入総額	4,620,537	3,652,029	26.5
歳出総額	4,406,620	3,324,062	32.6
歳入歳出差引額(A)	213,917	327,967	▲ 34.8
翌年度へ繰越すべき財源(B)	21,917	15,457	41.8
実質収支(A)-(B)	192,000	312,510	▲ 38.6

## (2) 歳入の状況

新型コロナウイルス感染症関連経費が加わったことで、前年度比が大幅に増額(+968,508千円)となっています。

特に、国庫補助金では特別定額給付金事業(町民1人につき10万円を給付)682,292千円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金212,519千円が歳入の増額に大きく関わっています。さらに、ふるさと納税を推進した成果として、寄附金が前年度比27,764千円の増額となりました。

また、財政調整基金の取崩しを行わなかったため、繰入金が前年度比△153,701千円の減額となりました。財政調整基金の取崩しをしなかった結果、基金残高の大幅な増額を達成することができました。

(単位:千円、%)

科目	令和2年度	令和元年度 (参考)	対前年度 増減率	用語説明
町税	806,951	770,462	4.7	皆さんが町に支払った税金【町民税(個人・法人)、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など】
地方譲与税	22,488	22,510	▲ 0.1	皆さんが国に支払った税金の一部が町の道路延長や面積に応じて町に分配される【地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税など】
利子割交付金	495	477	3.8	貯金利子に課税される県民税の一部が個人県民税額の割合に応じて町に分配される
配当割交付金	2,491	2,745	▲ 9.3	上場株式などの配当等に課税される県民税の一部が個人県民税額の割合に応じて町に分配される
株式等譲渡所得割交付金	3,250	1,675	94.0	株式等譲渡所得等に課税される県民税の一部が個人県民税額の割合に応じて町に分配される
法人事業税交付金	3,923	0	-	県が徴収する法人事業税の一部が従業員数(令和2年度は法人税割額)に応じて町に配分される(令和2年度から)
地方消費税交付金	139,015	113,176	22.8	地方消費税として課税される県民税の一部が一定の基準によって町に分配される
自動車取得税交付金	0	4,347	-	自動車取得の際に県に支払った自動車取得税が市町村の道路延長や面積に応じて町に分配される(令和元年9月まで)
環境性能割交付金	2,813	1,334	110.9	自動車取得の際に支払った環境性能割が市町村の道路延長や面積に応じて町に分配される
地方特例交付金	6,587	19,683	▲ 66.5	国の方針による減税で減収となった町税の一部を補てんするために国から町へ分配される
地方交付税	1,210,487	1,161,434	4.2	『普通交付税』・・・所得税、法人税などの国税、法定5税を財源に、全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう国から町へ分配される 『特別交付税』・・・その年の災害など特殊な事情で国から町へ分配される
交通安全対策特別交付金	816	700	16.6	交通違反の反則金を財源に、道路照明灯、カーブミラーなどの道路交通安全施設を作るために国から町へ分配される
分担金及び負担金	57,971	69,331	▲ 16.4	皆さんがサービスを利用するときに支払ったお金【保育所保育料、健診負担金など】
使用料及び手数料	40,817	42,933	▲ 4.9	証明書発行時の手数料や町施設を利用したときの利用料など【住民票等の発行手数料、町営住宅家賃、公共施設使用料など】
国庫支出金	1,413,298	452,720	212.2	町が行う特定の公共サービスに必要なお金の一部あるいは全部について、国から町に交付されるお金
県支出金	211,783	207,356	2.1	町が行う特定の公共サービスに必要なお金の一部あるいは全部について、県から町に交付されるお金
財産収入	2,343	3,188	▲ 26.5	町の定期預金(基金)の利子や町有地の貸付け、売払いで得た収入
寄附金	30,543	2,779	999.1	町への寄附金
繰入金	160,478	314,179	▲ 48.9	町の定期預金(基金)を取り崩したお金

繰越金	167,967	135,121	24.3	前年度からの繰越事業の財源として繰り越されたお金と前年度決算で残ったお金
諸収入	41,553	54,510	▲ 23.8	他の収入科目に含まれない収入 【延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入】
町債	294,468	271,369	8.5	町の借入金で、町が事業などをする際にその財源として国や金融機関などから借りるお金
合計	4,620,537	3,652,029	26.5	

### (3) 歳出の状況

#### ①科目別内訳

歳出の構成として、総務費と民生費の割合が高いことがわかります。総務費は新型コロナウイルス感染症関連経費、民生費は子育てや高齢者福祉などの福祉関係を多く支出しています。対前年度の増減として、総務費（特別定額給付金、応援給付金：町民1人につき2万円を給付）、民生費（保育所改修）、教育費（教育用パソコン整備）、災害復旧費（豪雨被害による漁港整備）が増額に影響しており、前年度比+1,082,558千円となりました。なお、農林水産業費（漁港整備）、土木費（橋・道路整備、住宅整備）の主要事業については、令和3年度に繰越しを行っています。

(単位：千円、%)

科目	令和2年度	令和元年度 (参考)	対前年度 増減率	用語説明
議会費	57,124	57,996	▲ 1.5	議員報酬等議会の活動に要する経費
総務費	1,476,246	601,640	145.4	庁舎の維持管理や町有地などの財産管理、戸籍、選挙、統計、徴税等に関する経費
民生費	1,195,531	1,082,033	10.5	社会福祉や高齢者、障害者、保育園、児童福祉等に関する経費
衛生費	234,701	215,117	9.1	保健衛生や環境衛生、し尿処理場、清掃施設などの運営や、水道施設への補助などに関する経費
労働費	0	5	—	失業対策事業に関する経費
農林水産業費	176,259	188,610	▲ 6.5	農業や漁業の振興を図るための支援や、生産基盤などの整備に関する経費
商工費	44,118	25,325	74.2	商業や工業の振興に関する経費
土木費	467,175	495,914	▲ 5.8	道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費
消防費	119,725	119,756	0	消防や火災予防などの災害対策のための経費
教育費	317,968	276,044	15.2	教育委員会、小中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに関する経費
公債費	287,514	261,613	9.9	国や金融機関から借りたお金の元金、利子の返済金
諸支出金	9	9	0	他の支出科目に含まれない支出
災害復旧費	30,250	0	—	洪水、暴風、地震その他の災害によって被害を受けた施設等を原形に復旧するための経費
合計	4,406,620	3,324,062	32.6	

#### ②性質別内訳

義務的経費は7.4%の増となっていますが、会計年度任用職員制度の開始による人件費の増額、公債費額の増額が影響しています。

投資的経費は保育所改修、道路整備、漁港の災害復旧により増額となっています。

そのほか経費については、特別定額給付金や応援給付金事業を行ったため、増額です。出資金の減額については令和元年度に設立したまちづくり会社への出資金です。

(単位：千円、%)

性質別	令和2年度	令和元年度 (参考)	対前年度 増減率	用語説明
義務的経費	1,549,914	1,443,438	7.4	
人件費	669,548	591,392	13.2	職員の給料や手当、各種委員報酬などの経費
扶助費	592,852	590,433	0.4	子育て支援など社会保障に関する経費
公債費	287,514	261,613	9.9	町の借入金返済のための経費
投資的経費	434,180	383,083	13.3	

	普通建設事業費	403,930	383,083	5.4	道路、学校、公共施設などの整備、改修等に関する経費
	災害復旧費	30,250	0	—	災害によって被害を受けた施設を原状に復旧するための経費
	その他経費	2,422,526	1,497,541	61.8	
	物件費	489,300	453,600	7.9	光熱水費、消耗品、施設・機械等の保守管理などに関する経費
	維持補修費	4,793	9,616	▲ 50.2	公共施設等の効用維持のために要する経費
	補助費等	1,495,507	616,460	142.6	町からの補助金、一部事務組合への負担金に関する経費
	積立金	163,815	143,568	14.1	基金への積立金
	投資及び出資金	0	10,000	—	公益上の必要性による株式、債券等の取得や、他団体・他会計への出資に要する経費
	繰出金	269,111	264,297	1.8	他会計に支出する経費
	合計	4,406,620	3,324,062	32.6	

#### (4) 経常収支比率、実質公債費比率の状況（財政構造の弾力性）

##### ①経常収支比率 85.0%（対前年度比△1.4%）

経常収支比率は、毎年入ってくるお金（町税や地方交付税など）が、毎年経常的に出ていくお金（人件費、公債費など）に、どれくらい使われているのかを示す割合です。

この比率が高くなるほど、町が自由に使えるお金が少なくなり、住民サービスが低下してしまいます。

令和2年度は経常収支比率が85.0%で、標準の範囲内であり、県内平均92.6%に比べて良好です。

##### ②実質公債費比率 8.0%（対前年度比△0.5%）

実質公債費比率は、収入に対して、借入金返済の費用がどのくらいあるのかを示す割合です。

この数値が高くなるほど、住民サービスに振り分けるお金が減ることとなります。

令和2年度は8.0%で、危険水準とされる25%を大幅に下回り、良好です。

##### ③将来負担比率 5.5%（対前年度比△9.7%）

将来負担比率は、借金の返済や将来負担しなければいけないお金（職員の退職金など）が、今後見込まれる収入に対してどのくらい上回っているのかを示す割合です。

この数値が高くなるほど、町の財政が、将来圧迫される可能性が高くなります。

令和2年度は5.5%で、危険水準とされる350%を大幅に下回り、良好です。

#### (5) 地方債の状況

地方債の年度末残高は、3,412,082千円となり、前年度に比べ21,592千円の増額となりました。

令和2年度は住宅改修、保育所改修、漁港（通常・災害復旧）、防災無線更新、減収補てん等のために地方債を発行しました。

※地方債年度末現在高の推移 (単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
臨時財政対策債	1,573,455	1,539,323	1,508,107	1,476,082	1,438,218
その他の地方債	928,043	1,746,492	1,854,739	1,914,408	1,973,864
合計	2,501,498	3,285,815	3,362,846	3,390,490	3,412,082

（臨時財政対策債については、後年度に国から返済のための財源が100%手当てされます。その他の地方債の多くも返済の財源が国から一部手当てされるものをできるだけ活用しています。）

#### (6) 基金の状況

町の貯金である基金の残高は、2,477,302千円となり、前年度末に比べ163,455千円の増額です。

歳出を抑えられたことにより財政調整基金の取崩しが不要となり、令和元年度の剰余金の積立て分が増額となりました。

※基金の年度末現在高の推移 (単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
財政調整基金	1,040,132	1,007,382	1,058,083	1,063,181	1,223,662
減債基金	349,909	350,291	350,371	350,493	350,596
その他特定目的基金	1,001,421	980,084	935,634	900,173	903,044
合計	2,391,462	2,337,757	2,344,088	2,313,847	2,477,302

## (7) まとめ

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策関連経費が発生したため、決算額も例年に比べて大幅な増額となっています。

感染症の影響による収入の減額も心配されていましたが、固定資産税の増などで町税も増額となり、結果として、全体としては良好な財政状況を維持できております。

歳入においては返礼品を伴うふるさと納税の推進により寄附金額が増額し、自主財源の確保が進みました。また、歳出では感染症拡大に伴い各種行事等が実施できなかったこともあり、歳出が抑えられました。結果、歳入が歳出を大きく上回り、財政調整基金の取崩しを行わない財政運営が達成でき、基金残高が増額となりました。

しかし、地方債残高の増額傾向、義務的経費の増額傾向や、施設の老朽化による改修・更新の課題も見込まれています。安定した財政を継続・維持できるよう、収支のバランスが取れた計画的な財政運営に努めて参ります。

## 2. 令和3年度一般会計予算の執行状況（9月末現在）

### 【歳入】

### 【歳出】

（単位：千円）

款別	現計予算額	収入済額	款別	現計予算額	支出済額
町税	716,947	473,164	議会費	59,417	29,809
地方譲与税	19,530	6,550	総務費	749,543	242,325
利子付割金	400	189	民生費	1,255,492	569,600
配当付割金	1,300	595	衛生費	298,854	147,465
株式等譲渡所得割交付金	300	0	労働費	5	0
法人事業税金	2,000	4,704	農林水産業費	166,358	77,658
地方消費税	138,000	80,405	商工費	26,965	4,597
環境性能割金	2,400	916	土木費	711,662	232,149
地方特例金	2,000	6,915	消防費	118,573	57,801
地方交付税	1,070,000	916,171	教育費	314,942	135,271
交通安全対策金	700	408	公債費	296,653	148,013
分担金及び金	63,675	27,850	諸支出金	97	0
使用料及び料	41,182	19,637	予備費	3,868	0
国庫支出金	676,237	138,123	災害復旧費	0	0
県支出金	228,250	30,214			
財産収入	8,828	6,429			
寄附金	30,002	8,401			
繰入金	369,883	130,000			
繰越金	81,036	113,917			
諸収入	53,088	5,315			
町債	496,671	0			
合計	4,002,429	1,969,903	合計	4,002,429	1,644,688
収入率		49.2%	執行率		41.1%

※ただし、歳入・歳出ともに、前年度からの繰越明許費（予算額379,476千円）を含んでいます。

### 3. 財産の状況 (令和3年9月末現在)

土地 345,920 m <sup>2</sup>	建物 31,135 m <sup>2</sup>	基金・有価証券・出資金 3,044,948 千円
------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

### 4. 地方債及び一時借入金の状況 (令和3年9月末現在)

#### (1) 一般会計債

##### 事業別

(単位：千円)

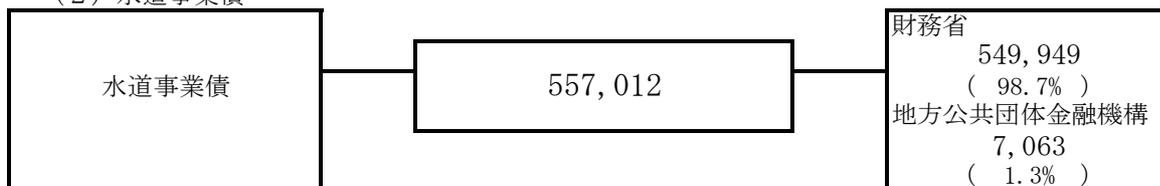
漁港施設債	町住宅債	営 業施設債	教育福祉施設債	道 路施設債	体 育施設債	水 道施設債	防 災施設債	吉富駅前周辺整備事業	農業施設債	庁舎増改築事業	その他事業債	災害復旧事業債	減 税 補 て ん 債	減 収 補 て ん 債	臨時財政対策債
104,201	659,441	149,952	138,224	20,239	153,384	256,602	115,570	70,984	193,910	688	13,859	11,755	4,713	1,376,558	
3.2%	20.2%	4.6%	4.2%	0.6%	4.7%	7.8%	3.5%	2.2%	5.9%	0.1%	0.4%	0.4%	0.1%	42.1%	

3,270,080

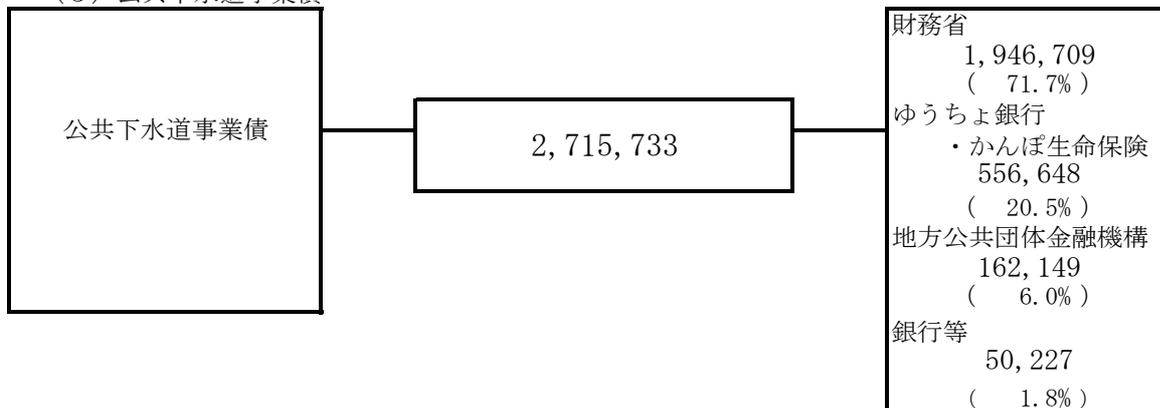
#### 借入先別

財務省	ゆうちょ銀行 ・かんぽ生命保険	地方公共団体 金融機構	銀行等
2,083,625 ( 63.7 )%	72,289 ( 2.2 )%	840,130 ( 25.7 )%	274,036 ( 8.4 )%

#### (2) 水道事業債



#### (3) 公共下水道事業債



## 5. 特別会計予算の状況

### (1) 国民健康保険特別会計

(単位：千円、%)

令和2年度決算

区分	2年度	元年度 (参考)	対前年度 増減率
歳入総額	783,101	795,940	▲ 1.6
歳出総額	771,823	789,679	▲ 2.3
歳入歳出 差引額	11,278	6,261	80.1

令和3年度予算執行(9月末現在)

歳入	歳出		
予算現額	825,817	予算現額	825,817
収入済額	341,538	支出済額	325,956
収入率	41.4	執行率	39.5

### (2) 奨学金特別会計

令和2年度決算

区分	2年度	元年度 (参考)	対前年度 増減率
歳入総額	25,356	23,304	8.8
歳出総額	17,048	17,011	0.2
歳入歳出 差引額	8,308	6,293	32.0

令和3年度予算執行(9月末現在)

歳入	歳出		
予算現額	33,765	予算現額	33,765
収入済額	15,253	支出済額	3,364
収入率	45.2	執行率	10.0

### (3) 後期高齢者医療特別会計

令和2年度決算

区分	2年度	元年度 (参考)	対前年度 増減率
歳入総額	113,083	106,648	6.0
歳出総額	110,355	104,084	6.0
歳入歳出 差引額	2,728	2,564	6.4

令和3年度予算執行(9月末現在)

歳入	歳出		
予算現額	115,680	予算現額	115,680
収入済額	36,312	支出済額	35,801
収入率	31.4	執行率	30.9

(4) 下水道事業会計

令和2年度決算

区 分	金 額
総 収 益	278,466
総 費 用	255,553
差 引 額	22,913
資本の収入	274,612
資本の支出	363,728

(5) 水道事業会計

令和2年度決算

区 分	金 額
総 収 益	157,689
総 費 用	123,740
差 引 額	33,949
資本の収入	43,801
資本の支出	91,957

令和3年度予算執行（9月末現在）

収 入			支 出		
区 分	予 算 額	執行済額	区 分	予 算 額	執行済額
収 益 の 入	290,314	146,861	収 益 の 出	274,658	49,605
資 本 の 入	374,303	7,460	資 本 の 出	480,630	60,498

令和3年度予算執行（9月末現在）

収 入			支 出		
区 分	予 算 額	執行済額	区 分	予 算 額	執行済額
収 益 の 入	149,597	58,375	収 益 の 出	128,480	32,755
資 本 の 入	87,598	6,400	資 本 の 出	139,087	13,762